

高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業 新規 7,017千円

介護保険事業のさらなる充実を図るため、第6期介護保険事業計画（平成27～29年度）を高齢者のための総合的な計画として、高齢者福祉計画と一体化し、策定します。

包括的支援事業（相談・支援計画・生活支援） 7,105千円

介護支援が必要となった場合にも、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう、総合的な相談を行い、それぞれに合った支援計画を立てて適切な生活支援を行います。

地域クラウド運営事業（介護・医療情報等の連携） 10,347千円

新規
介護認定情報や見守り支援のための情報、救急医療情報などを効率的に共有するためのシステムで、関係機関がこれらの情報を有効活用することにより、医療・介護等の連携を強化し、地域全体での支援体制づくりを図ります。

介護予防支援事業（生活機能チェック・介護予防教室） 9,710千円

要介護状態にならないようするため、生活機能評価により、介

護のリスクが高い（運動機能の低下・口腔機能の低下・低栄養等）方に対し、介護予防教室やシルバリハビリ教室、スクエアステップ教室などの介護予防を行います。



▲訪問歯科ユニットでの治療の様子
▲訪問歯科ユニット

市立病院訪問リハビリ事業（平成26年4月開始）／医療機器整備事業 拡充 12,100千円

「笠間市立病院建設協議会」の答申を踏まえ、在宅医療を軸とし、今までの在宅訪問診療に加え、訪問看護や訪問リハビリなどの新たな医療に取り組みとともに、医療機器の更新を図ります。

かさま地域医療教育ステーション推進事業（筑波大学病院連携） 22,000千円

拡充
地域医療に従事する医師の養成と地域医療の充実を図るため、昨年度まで県が実施していた筑波大学との連携事業を、今年度からは笠間市単独事業として指導医と研

修生を受入れ、理想的な地域医療教育を実践します。

健康づくり推進事業（食育・生活習慣病予防） 1,640千円

親子料理教室、子ども料理教室などさまざまな「食」の経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活の実践や、心身の健康増進に寄与します。



▲子ども料理教室



▼生活習慣病予防教室

ヘルスロード活用推進事業 4,796千円

拡充
ヘルスロードマップやコース案内看板の設置により、ヘルスロードを活用した健康習慣づくりを促進します。また、笠間市ウォーキ

ング協会と連携し、ウォーキングの体験教室などを開催します。



コース案内看板（飯田ダムコース）

かさま陶芸の里ハーフマラソン大会 事業 9,570千円

日本陸上競技連盟の公認コースとなったハーフマラソン大会の実施により、「健康都市かさま」のPRとともに、参加者の健康増進、体力の強化を図ります。



ハーフマラソン大会

